

南白小の未来をえがく！

令和6年9月25日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

校長室だより 第5号

～子供たちの未来が明るくなるように～

ひばり教室…個々の課題に向き合い

人は誰でも一人一人に個性があり、よい面もあれば、課題もあります。ひばり教室では自分のよさに気づき、表現することが苦手などの自分の課題を克服し、自信をもって生活できるようにするために学びます。生きるすべ、ソーシャルスキルや、コミュニケーション能力を育てていく教室です。ニーズは高く、年々人数は増えています。保護者の方のひばり教室の理解も深まり、私はよいことだと思います。1週間に2時間の指導のうち、1時間は4～6人の小集団（グループ）指導、もう1時間に一人の教員が一人の子供に個別指導を行うパターンが多いです。

小集団（グループ）指導

上学年（4年～6年生）小集団活動…「宇宙人はどんな顔？」

宇宙人の顔？

これでいいのかな



「三角」、「四角」、「円」、「楕円」などの図形でできている宇宙人の顔を言葉で伝え、友達に描いてもらいます。似ていたら大成功です。「形」「大きさ」「位置」をどう伝えるか、また、描く方は「もう1回言って」、「これでいい」と確認します。

そして、ルールを全員が守って行い、失敗しても「しょうがない」と妥協をしながら、友達のをさを認めながら、言葉による伝え方や聞き方を学んでいます。

下学年（1年～3年生）集団活動…「お手玉カーリング」

時間割の都合で4年生も1人含まれています。お手玉を10点、20点、30点の四角の枠に入れ、5回の合計点を競います。最初から「負けちゃう」となかなか参加できなかったり、投げることを失敗すると「もういやだ」と泣いたり悔しがったりしています。泣くことも悔しがることも、想定した学習です。そんな時にどうするのか、対応策を学ぶ学習なのです。不満をもちながらも最後まで行い、個別に担当教員と振り返っています。この振り返りがとても大切です。

上学年の子供たちも、下学年の時はこだわりが強く、大変だったことも思い出しました。ひばり教室での個々の成長を感じました。

②個別指導

低学年…個別指導



書字の練習をする



楽しく体を動かす（粗大運動）

個人の課題に応じた指導です。微細運動（手を使い、何かをかいたり作ったりする）、ビジョントレーニング（図形を描き写すことで目と手の動きをよくする）、粗大運動（体の調整力を鍛える）など、子供にあった学習を取り入れ、子供に成功体験を積み重ねてい

きます。そのために教材や指導方法等の子供の状況を見極め、決めていきます。

とてもよい言葉を聞きました。「できないと泣いていた自分が恥ずかしい。」と言った言葉にひばり教室のよさを感じました。